

犬と一緒に

「世界のあらゆる場所で、いろいろな役割をこなしていて、人間の生活に深いかかわりをもっている。」(『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』「イヌ」より) 犬は大昔から人間のよき相棒として暮らしてきました。はじめて飼われた時期は化石からも正確には分からないそうです。今月は犬と人間を描いた本を紹介します。

参考：『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』 秋山にほか/監修 ポプラ社

『犬がいた季節』

伊吹有喜/著 双葉社 913い

三重県のとある高校、通称「ハチコウ」で一匹の迷い犬・コーシローが飼われることになりました。それから幾度も季節がめぐり、コーシローとかかわった生徒たちが卒業していく中で、それぞれの甘くて切ない思い出がつむがれていきます。

『犬部！北里大学獣医学部』

片野ゆか/著 ポプラ社 645か

青森県の北里大学獣医学部の学生が立ち上げた保護犬(猫も)活動のノンフィクション。保護される動物にも、保護する人間にもそれぞれ個性があり、向き合い方は様々です。ときには意見をぶつけ合いながら活動する部員たちですが、ある日事件が起きてしまいます。どうなる犬部！？

こちらもおすすめ

『いぬほん

犬のほんねがわかる本』

道雪美/マンガ 今泉忠明/監修
西泉社 645み

#ペット #コミュニケーション

『いつでも会える』

菊田まりこ/著
学研

絵本 913き

#だいすき #会いたい

『おいでフレック、 ぼくのところに』

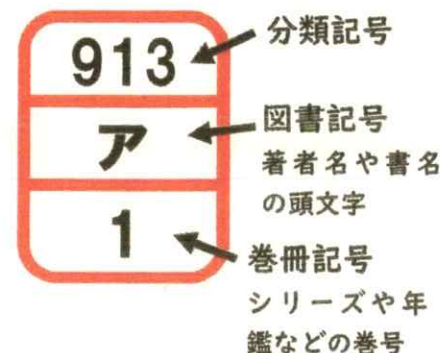
エヴァ・イボットソン/作
三辺律子/訳 偕成社 933い

#レンタル犬 #5匹

分類のはなし

図書館の本の背表紙にはラベルが必ずついています。ラベルには数字や記号が書かれていますが、この数字や記号にはきちんと意味があります。

図書館の本は「日本十進分類法 (NDC)」という規則によって、内容別に分類記号が付けられており、その順に整理されて並べられます。この分類記号と、著者や巻号などの記号を合わせたものが「請求記号」で、館内のどこにその本が置かれているかを示しています。いってみれば「本の住所」ですね。



リユース市 除籍した本がもらえます！

日時：5月19日(月)▶30日(金) 昼休み・放課後

場所：図書館内

図書館では資料のラインナップを定期的に見直し、古くなったものや保存期間が過ぎたものを中心に除籍をしています。そんな除籍本を持ち帰って再利用(リユース)してください。今回は雑誌がメイン。なくなり次第終了します。



お待たせしました！出張図書館スタート

各学年の廊下に、テーマに沿った出張図書館を設置します。

借り方は簡単。本にはさんである「貸出シート」にクラスと名前を記入してポストに入れるだけ。テーマは随時入れかえていきますので、ときどきチェックして、気になる本があったら、ぜひページをめくってみてください。

本の表紙画像は出版社から許諾を得られたものや、出版社または「版元ドットコム」のWebサイトで掲載可能であることを確認できたものを掲載しています。また、イラスト画像は制作者の利用規約を確認して使用しています。 2025.05Libnet